

JP 61-268215 A

Page 2, upper left column, line 9 to lower left column, line 10

A wall body 1 is composed of assembly columns 2, plural long rail bodies 3 provided in a transverse direction of the wall body 1, and wall panels 4, as shown in Fig. 1.

Each of the rail bodies 3 is fixed to the assembly columns 2 with screws, and a vertical interval between every two adjacent rail bodies is predefined so as to correspond to the width of each wall panel 4. Each rail body 3 is formed to have an approximately C-shaped section that opens toward a room side, and is extended toward the room side to have an opening top edge 30 and an opening bottom edge 31 that are each formed into a hook shape.

The wall panels 4 are formed in a long shape in the transverse direction of the wall body 1, and various types of the wall panels 4 each having a different width are prepared in advance. The wall panels 4 are appropriately disposed in a vertical direction to constitute a wall surface. A groove 40 is formed on each of the top surface and the bottom surface of each wall panel 4. The opening top edge 30 or the opening bottom edge 31 of the rail body 3 is fit into the groove 40 so that the wall panel 4 is fixedly supported by the rail body 3 (see Fig. 2).

The opening top and bottom edges of the rail body 3 may be extended to a surface of the wall panel on the room side (see Fig.

4(a)). Alternatively, the opening top and bottom edges of the rail body 3 may be opened with a distance therebetween gradually expanding toward the room side so as to support a wall panel having inclined top and bottom surfaces (see Fig. 4(b)). Further, the rail body 3 may be formed in a rectangular column shape to achieve stiffness enhancement (see Fig. 4(c)).

As shown in Fig. 3, the rail body 3 is provided with plural bearing members 5. An edge portion 50 of each of the bearing members 5 is formed in an oval-section shape corresponding to the cross-sectional shape of the rail body 3, and is formed to have a thickness in a longitudinal direction of the rail body. With the edge portion 50 being fit into the rail body 3 in a movable manner, the bearing member 5 is supported such that the bearing member 5 can be smoothly moved. In other words, the bearing member 5 can be moved in the transverse direction of the wall body 1 along a gap "a" between wall panels. The bearing member 5 has various shapes prepared in advance to be able to suit the intended use. Examples of the bearing member 5 include: one whose tip extended from the gap "a" is formed into a hook shape and which may be used as a hook; and one whose tip extended from the gap "a" is formed into a flat plate shape so as to allow a plate or the like to be placed on its top edge surface and which supports a shelf plate in cooperation with another bearing member of this type as a pair of brackets.

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-268215

⑤Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	④公開
A 47 G 29/00		M-7909-3B	昭和61年(1986)11月27日
E 04 F 13/08	1 0 1	7130-2E	
// E 04 B 2/74		7014-2E	
E 04 F 19/00		Z-7121-2E	審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 壁体構造

⑮特 願 昭60-109841

⑯出 願 昭60(1985)5月22日

⑰発明者 金 沢 靖 介 浜松市中沢町10番1号 日本楽器製造株式会社内
 ⑱出 願 人 日本楽器製造株式会社 浜松市中沢町10番1号
 ⑲代 理 人 弁理士 秋元 輝雄 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

壁体構造

2. 特許請求の範囲

室内側を開放した複数本のレール体が壁体の左右方向に亘って構築柱に固定され、該レール体それぞれは、壁体表面を構成する板状の壁面材間に介在して、上下の壁面材それぞれを支持し、かつ複数個の支持具を壁面材間の間隙に沿って移動自在に支持することを特徴とする壁体構造。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、住宅の居室などにおける壁体に関するものである。

〔従来技術〕

一般に、室内の壁にはポスターや絵を貼付けたり、またフックなどを取付けて帽子やハンガーそして額などを掛けたりしており、さらには棚が取付けられることもあって、壁面上を小物の設置ス

ペースなどとして利用されることが非常に多い。

〔発明が解決しようとする問題点〕

しかしながら、上記したフックなどの掛止具は、木ネジや接着剤を用いて直接壁面に固定されることから、取付位置の変更が容易に行なえず、またネジ孔や接着剤の跡が残って壁面の美観を損なう不都合な点があった。また上記した棚も釘によって打付けられていることから、移動させることができないばかりか不必要時においても取外すことはなく、状況に対応した壁面上の有効利用は行ない難いものであった。

〔問題点を解決するための手段〕

この発明は、上記した事情に鑑みてなされたもので、室内側を開放した複数本のレール体が壁体の左右方向に亘って構築柱に固定され、該レール体それぞれは、壁体表面を構成する板状の壁面材間に介在して、上下の壁面材それぞれを支持し、かつ複数個の支持具を壁面材間の間隙に沿って移動自在に支持することにより、壁面上の有効利用が図れるようにしたのである。

〔作用〕

この発明においては、上下壁面材間の間隙に沿って支持具が移動可能に設けられて、壁面上の所望の場所に支持具を位置させることができるのである。

〔実施例〕

つぎに、この発明を第1図から第4図に示す一実施例に基づいて詳細に説明する。

壁体1は、第1図に示すように構築柱2と、壁体1の左右方向に亘って設けられた複数本の長尺なレール体3と、壁面材4とからなるものである。

上記レール体3それぞれは、構築柱2にビス止めして固定されており、上下の間隔は予め壁面材4の幅に対応しているのである。そしてレール体3は、室内側を開放した断面略C字型状に形成されているとともに、開口上端縁30と開口下端縁31とが室内側に延設され鉤型状に設けられている。

壁面材4は、壁体1の左右方向に長尺にして形成されているとともに、幅寸法が異なる各種の

動できるように支持されているのである。すなわち支持具5は、壁面材間の間隙aに沿って壁体1の左右方向に移動させることができるのである。そして支持具5は使用目的に対応し得るように各種の形状のものが予め用意されており、例えば、間隙aから表出する先端が鉤状に形成されて、フックとして使用できるものや、同じく先端が板状に形成され上端面に板などを設置できるようにし2個1組となったブラケットとして棚板を支持するものがある。さらにこれら支持具5はレール体3および壁面材4の所定個所に設けられた切り欠き部32、41より差し替えることが可能であり、レール体1本当たりの支持具の個数および種類を容易に変更することができるのであって、壁面上の所望の位置に所望の支持具を設けることができるのである。

なお6はレール体3および壁面材4の切り欠き部32、41をおおうカバーである。

〔発明の効果〕

以上説明したように、この発明によれば、壁面

のが予め用意されており、上下方向に適宜に配設されて壁面を構成するのである。そして壁面材4それぞれの上端面および下端面には溝40が設けられており、該溝40にレール体3の開口上端縁30や開口下端縁31を嵌め込むことにより、壁面材4それぞれがレール体3によって支持固定されるのである(第2図参照)。

なお上記レール体3は、開口上下端縁を壁面材の表面まで延設してもよく(第4図(a)参照)、また開口上下端縁を室内側へ拡開させ、傾斜した上下端面を有する壁面材を支持するようにしてもよい(第4図(b)参照)。さらにはレール体3を角柱状に形成すれば剛性を向上させることもできるのである(第4図(c)参照)。

第3図に示すように、上記レール体3は複数個の支持具5を備えており、前記支持具5の端部50はレール体3の断面形状に対応して断面長円に形成され、かつレール体の長手方向に厚肉に形成されていて、該端部50がレール体3に移動自在に嵌め込まれ、支持具5がガタ付くことなく移

上の所望の位置に支持具を迅速に位置させることができ、小物の形状や個数に対応してその掛止位置を設定することができるとともに、棚板の移動も左右ばかりではなく上下方向にても行なえ、壁面上を無駄なく、さらに美観を整えながら、設置スペースなどとして利用できるなど、実用性にすぐれた効果を奏するものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明に係る壁体構造を実施した壁面を示す説明図、第2図は一実施例における壁面材の組付けを示す説明図、第3図は一実施例における要部を分解した状態で示す説明図、第4図(a)～(c)はレール体の他の例を断面にて示す説明図で、(a)は開口上下端縁を壁面材の表面まで延設したもの、(b)は開口上下端縁を室内側に拡開させたもの、(c)は角柱状に形成したものである。

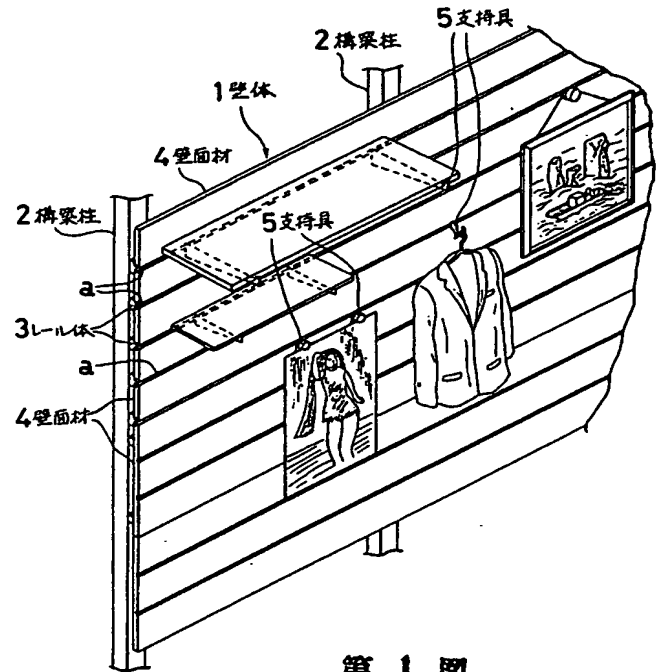
- | | |
|--------|----------|
| 1…壁体 | 2…構築柱 |
| 3…レール体 | 4…壁面材 |
| 5…支持具 | 30…開口上端縁 |

3 1 ... 開口下端縁

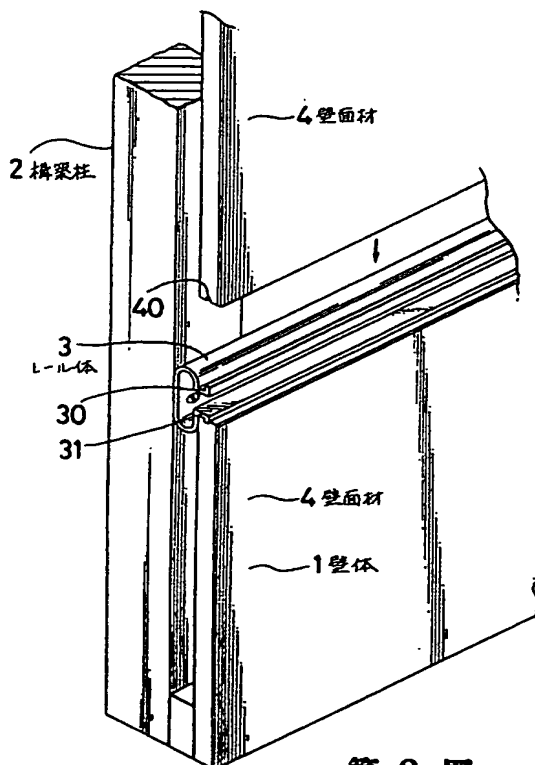
特許出願人 日本楽器製造株式会社

代理人 秋元 輝雄

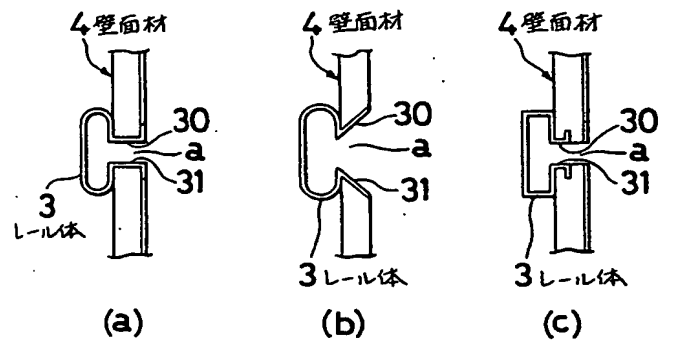
同 秋元 不二雄



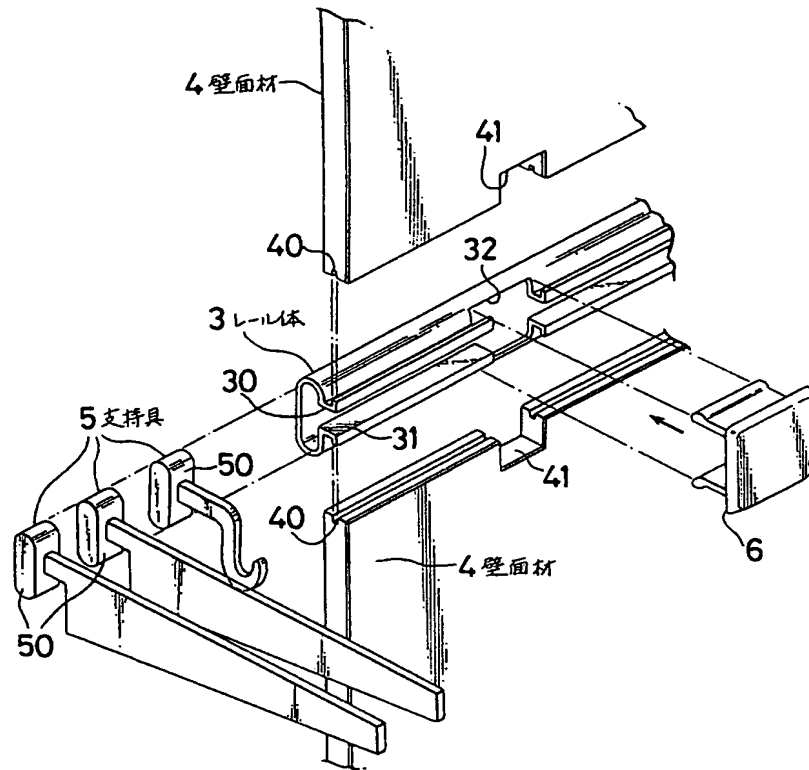
第 1 図



第 2 図



第 4 図



第 3 図